第2次留萌市食育推進計画における具体的推進方策及び事務事業(H25実績及びH26事業計画)

目指す姿	基本方針 (重点目標)	ライフステージ	具体的な推進方策	事務事業 (H25実績)	事務事業 (H26計画)	担当課等	
「知食」「共食」「健食」による豊かな暮らしの実現へ	1)「食育」についての理解と実践	乳・幼児期 (0歳～6歳)	●離乳食や育児に関する知識を伝えます	離乳食教室:離乳食や育児に関する知識を伝え、家庭での実践につなげることを目的に保健師・栄養士の講話、調理実習、試食を実施(2回/35名)	離乳食教室の開催(3回)	保健医療課	
			●間食や育児に関する知識を伝えます	保健師・栄養士の講話、調理実習、試食(2回/23名)	講話、調理実習、試食(1回)	保健医療課	
			●家庭での食管理、育児における不安軽減につなげます	健診:48回/657名、健康相談:39回/152名、個別対応:随時67名 食育だよりの発行 <みどり保育園> 幼児期における適切な食事やマナーを身に付け、心身の健全な育成を目指し、保護者向けに「おたより」を発行(年12回/139人) <沖見保育園> ・毎月1回、年12回の発行。栄養士や調理員から食管理についてのメッセージやレシピ等の掲載。 ・玄米の給食専用の掲示板に献立や食事についての情報、食育に関する写真、栄養情報などを随時掲示。 <留萌保育園> ・給食会議(みどり保育園栄養士招集)で3保育園の調理員、主任保育士で話し合い、毎月発行	健診・健康相談事業	保健医療課	
			●実際に料理に携わることで、食への関心と食べ物を作る工程を学びます	クッキング保育事業 <みどり保育園> ・年長児が各お店に食材を買いに行き、どのお店には何が売っており、買えるのかを知る。自分たちで作る楽しさ、食べる楽しさを知る(年2回) ・年中児が年長児のクッキング保育への憧れを持ち、自分たちも取り組めることを喜び、成長のステップとする <沖見保育園> ・年中組1回、年の後半にホットケーキ作り ・年長組1回目は、サンドイッチ作り、2回目はカレー作り 事前に計画を立て、前日に市内の店に行き、グループに分かれて食材を購入 <留萌保育園> ・サンドイッチ作り(11月12日/22名) ・ホットケーキ作り(11月26日/15名) ・カレーライス作り(2月5日/22名)	食育だよりの発行	保育園 (こども課)	
			●作物の栽培等を通じて、身体への五感を感じ、心に伝えることが実感できる機会の充実を図ります	市民農園等での栽培、収穫体験 ・るもい親子「あぐり教室」 <みどり保育園> ・田植えを行い、自分たちで栽培する喜びを味わい、成長過程を継続して観察する(年1回及び随時/32人) ・田植えを通じてお米の育ちに興味を持ちながら、お米ができる過程を楽しく経験する <沖見保育園> 保育園所有の園農園2箇所で年長児を対象には春には芋植え、秋には芋ほりを行い収穫した芋を使い、カレー、シチューなどに給食食材として保育園の園農園でできた食材のことを園児たちに話し、試食。その他、ミニトマト、ピーマン、玉ねぎ、大根、人参、さつまいもなどを栽培し、成長過程を観察したり、定期的に収穫して給食食材として使用。年少年中組も年長児が植えているところを見たり、収穫しているところを見たり、時には年中組も収穫。 また、田植えの時期になると農家(藤山)の田植え作業を見学に行き、保育園で家の方の指導の下で、バケツに実際の水田の土を入れ、お米の栽培を実施。秋には、鎌を使い稲刈りを体験。 <留萌保育園> じゃがいも植え(6月6日/15名) じゃがいも収穫(9月20日/15名)	クッキング保育事業	保育園 (こども課)	
		●家庭内での適切な食事や生活リズムを身につけ、食事を楽しむ習慣づくりを目指します	-	-	※家庭		
		2)地域の「食」を知る体験・伝承	学齢期 (7歳～18歳)	●体験学習を通じて、「食」の大切さを学びます	子どもの食育推進事業 田植え体験学習(6月13日/121名) 稲刈り体験学習(10月23日/121名) 児童農村絵画コンテスト	子どもの食育推進事業	学校教育課
				●学校教育活動の中で、各教科、特別活動、総合的な学習の時間等を通じ、食に関する指導の充実を図ります	栄養教諭による食育事業 食の指導実施回数 7回	栄養教諭による食育事業	小・中学校 (学校教育課)
				●学校給食での地産地消の活用を推進します	地元食材100%活用したメニューの提供 実施:9月5日 対象人数:児童生徒及び教職員1700食 献立内容:留萌産米粉を使用した「米粉パン」 小平産牛肉を使用した「小平牛ハンバーグ」 地元産かぼちゃペーストを使用した「かぼちゃポタージュスープ」 留萌産きゅうりを使用した「サラダ」	地元食材100%給食事業 地元産小麦ルルロツで作った麺(ラーメン)や魚介類を使用した「留萌ちゃんぽんラーメン」を提供予定。	学校給食センター
				●家庭向けに地産地消や食育の意義について啓発します	就学時健診に併せ、給食センター作成の給食PR用パンフと食育PR用リーフレットを配布(10月15日/190名)	給食だよりの発行	学校給食センター
	●農業・漁業体験機会の充実を図ります			留萌キッズ農林漁業体験事業 ・るもい親子「あぐり教室」(再掲) 5/25 4種類のいも、さといも、枝豆の植え込み 6/1 野菜の苗の植え込み、かぼちゃの種まき 8/6 農園での収穫とトマトジュース作り体験 9/5 大収穫祭!じゃがいもの収穫と試食 ・留萌子ども加工塾 6/22 ルルロツを使ったピザパンづくり 8/6 農園での収穫とトマトジュースづくり体験 10/12 るもい産の新そば粉を使ったそば打ち体験 11/30 農家の方から伝統の食べ物の作り方を学ぼう	留萌キッズ農林漁業体験事業	農林水産課	
	●料理を作る体験機会の充実を図ります		漁業体験モデル事業 ・市場見学(2回/小学3年生66名) ・いきいき水産学習(2回/小学1～2年生9名)	漁業体験モデル事業	農林水産課		
	●地域の「食」についての情報発信や伝統的な「食」文化を学び、体験する機会の充実を図ります		親子料理教室:1回/32名	料理教室の開催(対象は未定)	保健医療課		
	●家庭内での食事のマナーの指導や生活習慣の確立、子どもの食事づくりなどを実践します		子ども達の農業・加工体験を紹介する冊子の作成(1,000部/市内幼稚園・小学校配布用) ・留萌子ども加工塾 農家の方から伝統の食べ物の作り方を学ぼう(再掲) ・海辺deレストラン(食文化を知る)	地域の食だよりの発行、農漁村地域と都市部との世代間交流事業	農林水産課		
	3)地産地消で豊かな「食・暮らし」の実現		青・壮年期 (19歳～64歳)	●バランスのよいメニューや調理法等を伝え、家庭での実践に繋げます	いきいきクッキング教室:2回/14名 町内会婦人部料理教室:1回/3名	青・壮年期を対象にした料理教室の開催(食改推)	保健医療課
				●健診活動の推進や、保健指導で食や健康管理についての正しい情報を伝え、改善に繋げます	地域巡回を含めた年3回の集団検診、市内病院での個別健診(受診者/1,137人) 健診結果送付時にパンフレットを同封、結果説明会(年3回)では食生活に関する相談の実施	特定健診、特定保健指導	市民課 保健医療課
		●予防医学の視点から「食と健康」の重要性を説き、健康意識の向上に努めます		コミュニティカフェテリアの開催(6月～12月全12回/419人)留萌市健康づくり交流センター指定管理事業 市健康づくり計画に沿った内容で、健康づくりの意識を高めるため実施、広報誌でのコラム掲載(3回)	食と健康に関する講演会等(指定管理事業)	コホートピア推進室	
		●地域の旬の食素材の紹介や、販売機会の充実、料理の提供などにより、地産地消を推進します		留萌の海と畑まるっこPR事業 「田んぼでなつぼうしレストラン」るもい (H25.9.29/参加者20名) 海辺deレストラン (H26.2.13/参加者32名)(再掲) ・うまいよ!留萌市の開催 ・食による観光施設活用推進事業 留萌市民が行っている肉と魚介の「パーベキュー」を「るもい浜焼き」としてブランド化と環境整備 (1)道内催事等での「るもい浜焼き」のPR (2)観光施設における「るもい浜焼き」の仲介及び提供 (3)マスコミを活用した一般向けPR	留萌の海と畑まるっこPR事業	農林水産課	
		●食の安全や栄養成分表示についての普及、理解を進め、栄養面からの健康管理を支援します		食生活改善推進員の養成講座を実施。留萌市民の健康状況と生活習慣病予防等カリキュラムに沿い、講義、実習を実施(1回/19名、10単位20時間を5日間で実施)	H26年度実施無	保健医療課	
		●家族でコミュニケーションを取りながら食事する機会を意図的に実践します	-	-	※家庭		
		4)食と健康の推進	高齢期 (65歳～)	●「食べ方」の支援やバランスの取れた食事摂取を伝えます	生活習慣病予防、低栄養予防等のための講話、調理実習、試食を実施 シニアクッキング教室(1回/7名)	高齢期を対象にした料理教室の開催(食改推)	保健医療課
				●生活の質の低下の現状を適切に把握し、早期の予防に取り組みます	2次予防事業の対象者把握事業 ・民生委員委託分(70～74歳):対象951名、回収882名 2次予防事業対象者数174名 ・郵送分(75～79歳):対象709名、回収404名 2次予防事業対象者数144名	2次予防事業の対象者把握事業	地域包括支援センター
	●高齢者の孤立防止や活動機会の充実を支援します			ピンピンからだ広場事業(介護予防) はーとふるの機能訓練室で、週3回(月曜午前、金曜午前、金曜午後)実施 実施回数:95回 参加実人数:47名 参加延人員:1,198名(H25.12月末現在)	ピンピンからだ広場事業(介護予防)	地域包括支援センター	
	●口腔衛生に関する知識、普及や口腔機能の低下、低栄養の状況を早期に把握、予防に努めます			栄養改善事業「はつらつ栄養講座」 参加実人数:2名 実施回数:1人あたり6回 延べ参加数:12名 口腔機能向上事業「健口教室」 参加実人数:5名 実施回数:1人あたり5～6回 延べ参加数:28回	はつらつ栄養講座事業	地域包括支援センター	
●調理が困難な高齢者の食事環境を支援します	給食サービス事業 内容:週3～6日(月～土曜)、夕食のみ、食事を宅配する 自己負担金:1食395円(特別食は545円) 利用実人数:41名 提供食数:5,101食(H25.12月末現在)			給食サービス事業	地域包括支援センター		
●家庭において食事を楽しむ習慣づくりを目指します	-			-	※家庭		